

県外派遣報告書	
1 大会名	令和4年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技
2 派遣期間	7月27日(水)～28日(木)
3 会場	善通寺市民体育館
4 派遣者	上山 正智
5 担当ゲーム	男子1回戦 県立日川(山梨)×東海大学附属諏訪(長野) U1 男子2回戦 尽誠学園(香川)×東海大学附属相模(神奈川) U1
6 内容	<p>男子1回戦 県立日川(山梨)×東海大学附属諏訪(長野) CC:高橋(北海道) U1:上山 U2:山下(徳島)</p> <p>【PGC】zoomにて実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スカウティングの共有 ・映像に基づいたケースの共有 ・「処置ミスゼロ・トラベリング・ポジションアジャスト」について <p>【game】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Uカテゴリ代表の選手がいるチームとそうでないチームのゲーム ・身長に差があったため、 mismatches が起こるところへの注意が必要になるゲームだった。(Off ball への意識) <p>【After the Game】</p> <p>▲1Q 6:30 のバスケットカウントのケース。オリジナルセンターに任せて判定を行わない方が良かったと反省。</p> <p>▲プライマリが然るべき判定を行なえていなかった部分もある。</p> <p>▲諏訪ベンチ(Coach)から現象に対してのアピールが多かった。注意・警告を与えていたにも関わらず修まらなかったことに対して、シンプルに処置を行なうべきだったと反省。しかし、言わせてしまった原因を作ったことには変わりないため。原因を分析していく必要がある。</p> <p>男子2回戦 尽誠学園(香川)×東海大学附属相模(神奈川) CC:堀内(愛媛) U1:上山 U2:七種(徳島)</p> <p>【PGC】ゲーム40分前実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スカウティング情報の共有 スカウティングは各ブロック大会、各県大会スコアより分析 ・メカニクスとプレイコーリング ・「処置ミスゼロ・トラベリング・ポジションアジャスト」について

	<p>【game】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スカウティングを行なった部分がゲームで出てきていて、シンプルに判定できた。 ・TO と連携し、処置ミスゼロで終わることができた。 ・プライマリのレフリーが責任を持って判定できていた。プライマリが判定出来ていない部分はセカンダリが判定に参加出来た。 <p>【After the Game】 ※CC 中心のクルーでの会話</p> <p>▲C がもっと判定に参加すべきだった。</p> <p>▲同じ現象に対して、同じように判定すべきことがあった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・判定を急ぐことなく、形を最後まで見極めて判定できた。Patient の意識がついてきたと感じた。 ・プライマリのレフリーが責任を持って判定できていたと思う。
7 所感	<p>コロナ禍ではあったが予定通り開催され、県を代表して参加させて頂いたことに感謝します。移動・宿舎・会場での感染症対策を徹底して、参加期間中は過ごすことができました。</p> <p>ゲームに関しては、プレーになかなかアジャストできなかった初日を反省し、2日目につなげることができた収穫のある大会となりました。現在 Patient を意識した取り組みを行なっている中で、手応えを感じたゲームができました。収穫できたことは、県内で必ず還元していきたいと思っております。</p> <p>久しぶりの IH に参加させて頂いた中で、高校生のスポーツに対する熱量を肌で感じることもでき とても良かったです。派遣して頂きました原田審判長をはじめ、県バスケットボール協会の皆様、ご準備して頂き迎え入れてくださいました香川県バスケットボール協会の皆様、全ての皆様に感謝申し上げます。来年の鹿児島国体に必ずつなげていきたいと思っております。本当にありがとうございました。</p>